

令和6年1月5日（金）

令和6年能登半島地震への支援状況について

令和6年1月5日（金）午前12時00分時点での支援状況は以下のとおりです。

・緊急消防援助隊

消防組織法第44条の規定に基づき愛知県から緊急消防援助隊の出動指示を受け派遣

▶第1次隊

- ・日 時 1月1日（月）午後7時30分に出発
- ・期 間 1月1日（月）から1月4日（木）まで
- ・体 制 職員18名、車両5台
（救助工作車、救急車、水陸両用車、拠点機能形成車及び人員輸送車の5台、18名）
- ・進出場所 輪島消防署門前分署（輪島市門前町走出11-28）
- ・任 務 地震による被害への対応（救助・救急）、緊急消防援助隊の後方支援



【活動内容（第1次隊）】

愛知県大隊の主要部隊として輪島市門前町にて救助・救急活動に従事

救 助 小 隊：出動2件 かけ崩れ、倒壊家屋現場に出動

救 急 小 隊：出動2件 現地職員が同乗して出動

後方支援小隊：愛知県大隊の宿営地の設置及び給食活動等

活動隊員所感：現地は想像以上の壊滅状態で、道路の崩壊、家屋の倒壊はいたるところで発生している。大雨によりずぶ濡れになったことも影響し、寒さに耐えながらの活動となったが、出動途上にすれ違う全ての住民が我々消防隊に頭を下げ、感謝の気持ちを示されることが力となり、隊員全員の士気は高い。



▶第2次隊

- ・日 時 1月4日（木）午前4時50分に出発（現地で活動している第1次隊と交代）
- ・期 間 1月4日（木）から1月7日（日）まで
- ・体 制 職員18名、車両5台（第1次隊に同じ）
- ・進出場所 第1次隊に同じ



・災害派遣医療チーム（DMAT）

厚生労働省DMAT事務局からの要請により派遣

日時 1月2日（火）午前12時00分に出発

期間 出発から72時間

体制 斗野 敦士（市民病院医師 救急科副部長）ほか4名
（看護師2名、診療放射線技師1名、薬剤師1名）、DMAT
車1台、ドクターカー1台

参集拠点 公立能登総合病院（七尾市藤橋町6-4）

業務内容 病院支援等



【活動概要】

1月2日（火） 午後9時00分 公立能登総合病院到着

1月3日（水） 午前8時30分 珠州市総合病院（珠州市野々江町1-1）への支援決定

1月3日 午後4時20分 珠州市総合病院到着
病院支援活動を実施

1月4日（木） 午前9時00分 病院支援及びヘリ搬送業務を実施

（搬送 珠州市総合病院→金沢大学附属病院（金沢市宝町13-1）自衛隊航空機搬送 3便）

1月5日（金） 午前 第2次派遣の隊に引継ぎ完了次第撤収

・応急給水隊

日本水道協会を通じた石川県津幡町からの給水車の派遣要請により派遣

日時 1月2日（火）午後2時00分に出発

期間 1月2日（火）～ 未定

体制 上下水道局職員4名、4t給水車1台、2tトラック1台（仮設給水槽、給水袋等を持参）

派遣先 石川県津幡町

業務内容 断水地域において給水活動を行う



【活動概要】

・1月3日（水）：4t給水車は公立河北中央病院の貯水槽にピストン輸送。物資運搬用2tトラックは羽咋市に仮設給水槽各1基を3か所に設置。その後、津幡町内で給水活動。

・1月4日（木）：給水車は津幡運動公園で給水活動（午前9時～午後5時）。2tトラックは、仮設給水槽7基と給水袋800枚を志賀町文化ホールに運搬。その後、帰豊。



【職員のコメント】

「支援先の職員さんからも豊橋市からの応援に感謝の言葉をたくさんいただきました。」

・支援物資の提供

公益社団法人日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会が令和6年能登半島地震の被災地へ支援物資を搬送するのに伴い、公益社団法人豊橋青年会議所経由で支援物資を提供

日時 1月4日（木）午前10時30分受け渡し

品目 飲料水（500 ml） 240本 / おむつ 47箱 / 生理用品 20,000枚 / 凝固衛生袋セット 20,000セット / 簡易トイレ+ワンタッチテント 100台 / ブルーシート 1,000枚 / 標識ロープ 100巻 / 土嚢袋 20,000枚

・募金箱の設置

被害を受けられた方々に対する義援金を募るため、市の施設やイベント会場に募金箱を設置

期間 令和6年1月4日（木）～ 準備のできた施設より順次設置

設置場所 豊橋市役所及びまちなか図書館、総合動植物公園、地区市民館（22）など市の施設 53施設

イベント 豊橋市消防出初式（1/6） / 新成人 だまされちゃ188（いやや）！キャンペーン（1/7） / 三遠ネオフェニックス豊橋戦（1/20） 等を予定

・保健師等の応援派遣

厚生労働省を通じた保健師等派遣要請に基づき、愛知県、中核市等との合同チームを編成し、保健師を派遣（令和6年1月9日（火）～2月29日（木）予定）

豊橋市の派遣期間 令和6年2月8日（木）～2月14日（水）

体制 上記の期間に保健師1名の派遣

（チームは保健師2名、薬剤師又は獣医師1名、業務調整員1名で編成）

派遣先 石川県能登地方、その他

業務内容 避難所等における住民の健康支援業務 / 在宅における要支援者の健康管理業務等

・その他（調整中）

・災害廃棄物の運搬等に関する支援要請に対し調整中（環境部）

▶ 一覧

名称	出発日	期間	所属	人数	車両台数
緊急消防援助隊（第1次隊）	1月1日 午後7時30分	1月1日から1月4日まで	消防本部	18	5
第2次隊（第1次隊と交代）	1月4日 午前4時30分	1月4日から1月7日まで	消防本部	18	0
災害派遣医療チーム（DMAT）	1月2日 午前10時00分	出発から72時間	市民病院	5	2
応急給水隊	1月2日 午後2時00分	1月3日から当分の間	上下水道局	4	2
支援物資の提供	1月4日（受渡）	豊橋青年会議所へ受渡	防災危機管理課	—	—
募金箱の設置	—	1月4日～	福祉部	—	—
保健師等の応援派遣	2月8日	2月8日から2月14日まで	健康部	1	

問合せ先

緊急消防援助隊について 消防救急課 課長補佐 尾崎（電話 51-3101）

災害派遣医療チーム（DMAT）について 豊橋市民病院 管理課 課長補佐 鈴木
（電話 33-6275）

応急給水隊について 上下水道局総務課 課長補佐 大竹（電話 51-2704）

支援物資について 防災危機管理課 課長補佐 齊藤（電話 51-3125）

募金箱の設置について 福祉部 福祉政策課 課長補佐 兵道（電話 51-2356）

保健師等の応援派遣について 健康部 健康政策課 専門員 井川（電話 39-9114）